

●学習指導プラン【中学校 第2学年 学級活動】

学習内容	現在注目されているエネルギーである再生可能エネルギーについて、これまでのエネルギーとの違いやメリット・デメリットを知ること、今後どのように再生可能エネルギーを活用していけばよいか考える。		
ねらい	再生可能エネルギーのメリットやデメリットを理解し、その必要性について意見を述べることができる。		
段階	学習活動・内容	時間	○ 指導上の留意点 評価（評価方法）
問題把握	<p>1 本時の見通しをもつ。 (1) 再生可能エネルギーについてのイメージを知る。 (2) 再生可能エネルギーの定義について知る。</p> <p>2 本時の課題を把握する。 再生可能エネルギーとは何か。</p>	5 2	<p>○ 短時間で本時の課題に迫るため、ペアでイメージを共有する。</p> <p>○ ズレを生かした課題設定をするため、定義について確認し、イメージとの差を明確にする。</p> <p>○ 活動への意識化を図るため、福島県では、東日本大震災後から急激に再生可能エネルギーへの意識が高まったことに触れる。</p>
問題追究	<p>3 活動の見通しをもつ。 (1) 再生可能エネルギーが注目されている理由を考える。 (2) 再生可能エネルギーのメリットとデメリットを考える。</p> <p>4 話し合い活動を行う。 (1) 再生可能エネルギーについて考えたことを説明する。 (2) 理由を共有する。 (3) 全体で共有する。</p>	13 25	<p>○ 活動の見通しをもつために、タイマーで時間を設定し、短時間で取り組ませる。</p> <p>○ 生徒の思考を促すために、様々な発電方法について触れる。</p> <p>○ 考えを調整・修正するために、ペアで確認する。</p> <p>○ 主体的な活動を行う雰囲気を醸成するために、生徒同士自由に交流させる。 再生可能エネルギーのメリットやデメリットを理解し、その必要性について意見を述べることができたか。 (発表・ワークシート)</p>
まとめ	<p>5 本時の活動を確認する。 (1) 本時の活動を振り返る。 ・ 再生可能エネルギーについてこれからどんな学習をしていけばよいか記入する。</p>	5	<p>○ 今後、生徒の主体的な活動につなげていくために、活動を振り返りながらエピソード評価を行う。</p>
作成推進校	浅川町立浅川中学校		

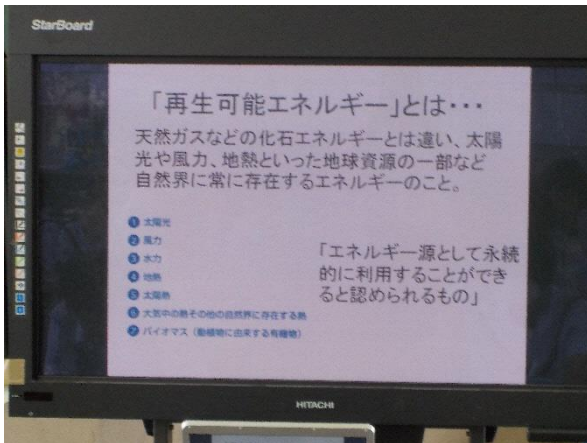
●実践成果

1 実践の意図について

再生可能エネルギーについて、その用語や漠然としたイメージはもっているものの、これまでのエネルギーとの違いやメリット・デメリットについて具体的に説明したり、自分たちにどのように関わることができるのかを話し合ったりする機会はそれほど多くはない。そこで、学級活動の時間を活用し、再生可能エネルギーについて話し合い活動を行うことで、再生可能エネルギーについての考えや意見を共有し、今後の学習に主体的に取り組めるきっかけとなる授業を設計した。

2 学習活動の様子と成果について

- (1) 再生可能エネルギーについて、それぞれが知っていることやイメージについて短時間で話し合った。再生可能エネルギーの定義やどのようなものが再生可能エネルギーなのかを確認することで、自分たちが知っていたもの以外にも再生可能エネルギーと呼ばれるものがあり、これまでの考えや体験からのズレに気づくことで、本時の課題への興味・関心を高めるとともに、主体的に課題解決へ取り組む意識の醸成を図ることができた。



- (2) 近年、再生可能エネルギーが注目されている理由やメリット、デメリットについて考え、話し合い活動を通してお互いに説明したり共有したりした。話し合い活動を通して、自分がもっていた再生可能エネルギーについての知識についてさらに深めるとともに、再生可能エネルギーについての意見や考えを広げることができた。



- (3) グループで話し合った内容を全体で共有し、これから実施する見学学習でどのような点に注目して学習すればよいかや東日本大震災を経験し、現在、福島県が先駆けの地として進めている再生可能エネルギー

事業について知ることができた。

